

# ガイドライン内 事前協議チェックリスト (江北七丁目地区)

20180510

Ver.B.1

【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合	
オープンスペースでつくる景観	公園・広場	上沼田北公園及び上沼田公園と一体的・補完的に機能する緑のオープンスペースとしての広場の整備		<input type="checkbox"/>	
		日常生活におけるレクリエーション拠点と併せ、災害時における避難場所などの防災拠点として整備		<input type="checkbox"/>	
		地域住民の散策と憩いの新たな魅力ある空間整備		<input type="checkbox"/>	
		団地南西部の交差点について、ポケットパークとしての機能と併せ持つ大規模な見通しコーナーの形成		<input type="checkbox"/>	
	歩行者空間・連絡軸	外周道路交差点及び曲折部は歩行者の安全性と、車両交通の円滑性を考慮した見通しコーナーを形成		<input type="checkbox"/>	
		緑のオープンスペース軸では歩道、歩道状空地及び緑地を構成		<input type="checkbox"/>	
		緑のオープンスペース軸では、既存樹木を保全・継承するとともに新植樹木との複合により緑豊かな空間を整備		<input type="checkbox"/>	
		緑のオープンスペース軸では、新植による緑陰空間と休憩空間を形成		<input type="checkbox"/>	
	緑でつくる景観	歩行者空間の整備	団地東側補助251号線沿いでは、既存樹木の保全及び新植による緑陰空間の形成及びコミュニティバス停留所前には休憩空間を形成		<input type="checkbox"/>
			団地北側道路では、主に新植による緑陰空間を形成		<input type="checkbox"/>
団地南側道路及び団地内の南北に通る通路では、既存樹木の保全、新植による緑陰空間を形成				<input type="checkbox"/>	
団地内を東西に横切る自転車歩行者専用道路では、既存樹木の保全。新植及びベンチを設置				<input type="checkbox"/>	
緑の継承・拡充		地区内の既存樹木のうち、健康な樹木など保存に適したものは原則保存・継承する		<input type="checkbox"/>	
		歩道状空地等の中に既存樹木を取り込んだ整備を行い、歩行者の通行機能を維持しながら変化のある歩行者空間を形成		<input type="checkbox"/>	

		地域の象徴となるようなシンボルツリーを新植するとともに、住棟間のひらけたスペースにはアイストップとなるようなシンボルツリーを新植			<input type="checkbox"/>
		居住者の動線となる団地内通路沿いを中心に、高木、中木、低木等を防犯にも配慮しながら適切に配置			<input type="checkbox"/>
		常緑樹のほか季節ごとの変化を考慮した花木も取り入れ、地域の中で四季の移ろいを感じられる魅力的な景観を形成			<input type="checkbox"/>
		緑化にあたっては、周辺街路樹・団地南北側の公園との調和や地域の在来種に適合した樹種の選定に配慮			<input type="checkbox"/>
		緑化基準を遵守するとともに、地区内の空地をできる限り緑化するなど積極的に緑化			<input type="checkbox"/>
周辺環境との調和でつくる景観	土地利用・建物配置	周辺環境との調和を保ちながら土地の有効活用を図り、まとまりのある配置を検討			<input type="checkbox"/>
		都営住宅ゾーンの西側を中層エリアとする			<input type="checkbox"/>
		東側の補助251号線の沿道を高層エリアとする			<input type="checkbox"/>
		公共・公益施設用地を低層エリアとする			<input type="checkbox"/>
	際の処理	地区周囲に対する建物の圧迫感の緩和や周辺市街地との調和など緩やかな際の処理による景観形成			<input type="checkbox"/>
ユニバーサルデザインの導入		団地住棟及び団地内施設は障害者、高齢者等に配慮した思いやりのある、誰もが使いやすいデザイン			<input type="checkbox"/>
屋外施設(駐車場、駐輪場、ごみ置き場、ベンチ等)		駐車場などの屋外施設は、道路や広場からの見え方及び防犯に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐車場は、生垣、植栽柵で死角をつくらないように計画し、見え方に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足下に低木を設けて緑化するなど景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		ごみ置き場は、緑化により目隠しを行い、建物と一体感のあるデザインなどにより景観に配慮			<input type="checkbox"/>

		屋外灯は、必要な照度が確保できるようにバランス良く配置			<input type="checkbox"/>
		案内板等のサイン計画は、景観に変化を与えるポイント的なデザインとし、周囲の建物との調和に配慮			<input type="checkbox"/>
		緑のオープンスペース軸や補助251号線沿道においてはベンチ等を適時配置し、休憩空間の形成に配慮			<input type="checkbox"/>
舗装		通路や歩道状空地に用いる舗装材料は、アスファルト舗装とし、浸透性のあるものなど環境に配慮			<input type="checkbox"/>
		街角や車の導入口はその場の視認性を高める工夫			<input type="checkbox"/>
		ユニバーサルデザインに配慮した舗装材料			<input type="checkbox"/>
屋外広告物	都営住宅	原則として屋外広告物を設置しない。案内板等を設置する場合は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
	公共・公益施設	公園や住宅に面して屋外広告物を設置する場合は、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋上広告物は、著しく圧迫感を与える大きさを避け、周辺とのスカイラインの調和を考慮した高さ			<input type="checkbox"/>
		壁面広告物は、建築物の壁面とのバランスを考慮した大きさとし、ファサードデザインを著しく乱さないよう、配置・形状に配慮			<input type="checkbox"/>
		突出広告物は、沿道景観を乱さないように、形状を揃え、壁面線に沿って規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>
環境に配慮した取り組み		浸透マス等の設置や、透水性舗装の採用や敷地内を極力緑化するなど、自然環境を保全、再生する取り組みに努める			<input type="checkbox"/>
		省エネルギーへの配慮やエネルギー使用の合理化、再生エネルギーの利用など、省エネルギー化の推進、自然エネルギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>
		コンクリートの再生砕石の利用など、リサイクル材の活用や廃棄物の削減などに配慮			<input type="checkbox"/>

色彩	都営住宅	ベースカラーは0YR～4.9YR（黄赤）系の高明度・低彩度のベージュ色			<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは、0YR～4.9YR（黄赤）の中明度・中彩度色			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、サブベースカラーより高明度、高彩度の色相			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、建物のエントランスや低層部、街角などでアイストップとなる部分、工作物などにサインとして効果的に用いる			<input type="checkbox"/>
	公共・公益施設	建物の規模に応じて「足立区景観計画における色彩基準Ⅰ～Ⅱ」を遵守			<input type="checkbox"/>
		強調色として原色に近い高明度、高彩度の色を用いる場合は、区道に面する箇所以外には用いない			<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。  
 なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。